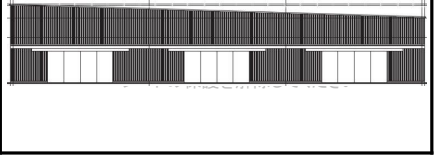


# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コーヨークリエイト岬工場増築	階数	地上1F
建設地	大阪府泉南郡岬町多奈川谷川	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2024年6月6日
敷地面積	37,707 m <sup>2</sup>	作成者	下川 誠之
建築面積	5,341 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月6日
延床面積	5,341 m <sup>2</sup>	確認者	下川 誠之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 67% (31 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 67% (31 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 67% (31 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.8	3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境	まちなみ	地域性
2.0	2.0	2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	5.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.0	2.4	4.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.3	2.8	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	・周囲の街並みに調和する色調とした。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	・T-1仕様の開口部を採用し、遮音性に努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・緑地を設け、景観性に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・緑地を設け、地表面の温度上昇の抑制に努めた。
<b>Q2 サービス性能</b>	・動かせないものを極力無くし、設備や空間のプランニングの自由度を高めた。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	・洗面器に自動水栓を採用し、節水に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)コーヨークリエイト岬工場増築PJ					
建設地		大阪府泉南郡岬町多奈川谷川					
用途/区分		工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					評価対象外	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			評価対象外	
						6	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							